

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	健康増進総合システム(保守・運用)		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 木村 博承	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本システムは、科学的知見に基づく正しい情報の国民への発信、自ら生活習慣の改善を行うことを支援するプログラム、及び保健師等の専門家の個別指導が受けられる双方向対話型プログラムの運用を行い、国民の糖尿病や合併症などの生活習慣病をよぼうすることを目的としたもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生活習慣の改善のための最新の科学的知見に基づいた情報提供、個人に合わせた専門指導を行うためのプログラム等の運用を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	93	85	85	36	36
	執行額	86	80	80			
	執行率(%)	92.5	94.1	94.1			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	システムの保守・運用経費のため目標を示すことは困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	平成23年度は約9,000万件のアクセス数があった。平成24年度についても、より多くの方が円滑にシステムを活用していただけるよう、保守・運営を行う。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
				-	-	-	-
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	サーバ機器等関連費	5	5				
	データセンター運用費	9	9				
	システム保守等費	17	17				
	システム改善費	5	5				
	計	36	36				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	年間に約9,600万人が「e-ヘルスネット」を閲覧していることから、国民のニーズは高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国民全員が容易に最新の情報を得ることができるよう、国(厚生労働省)のHPIにて掲載をすることが望ましいと考える。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	平成20年度に一般競争入札を行い、4年間の国庫債務負担行為による契約を結んでいるため、支出先の選定は妥当と考える。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ハードウェア・ソフトウェア保守費及びデータセンター運用費等、必要最低限の経費のみの予算計上としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国民全員が容易に最新の情報を得ることを可能にするためには、HPによる普及啓発を行うことが、最善であり、年間約9,600万人が検索しているなど、実効性が高いといえる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	年間に約9,600万人が検索していることから、実績は高いと考える。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>支出先・使途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握しており、適正に執行している。データセンター運用、システム運用、保守及びシステム用機器賃貸・保守に要する80百万円については、平成20年4月1日から平成24年3月31日までの履行期間での国庫債務負担行為の複数年契約を締結しているところ。なお、平成24年度予算において、大幅な機器構成の見直しに伴うサーバ台数の削減を行っており、システム経費については、最低限必要なもののみへ見直しており、今後も引き続き適正に実施していくこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	315	平成23年行政事業レビュー	285

厚生労働省
80百万円

〔 委託業者への指導・管理 〕

【一般競争・委託】

A. 富士ソフト(株)
24百万円

〔 ・データセンター運用(国庫債務)
・機器賃借及び保守一式(国庫債務) 〕

【一般競争・委託】

B. 昭和リース(株)
27百万円

〔 ・システム機器賃借及び保守(国庫債務) 〕

【一般競争・委託】

C. スタートコム(株)
29百万円

〔 ・システム運用保守支援業務一式(国庫債務) 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.富士ソフト(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
システム運用費等	データセンター運用業務一式	24			
計		24	計		0
B.昭和リース(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
システム機器賃貸借及び保守	システム機器賃貸借及び保守一式	27			
計		27	計		0
C.スタートコム(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
システム運用保守業務費	システム運用保守支援業務一式	29			
計		29	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ソフト(株)	データセンター運用業務一式	24	1	100

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	昭和リース(株)	システム機器賃貸借及び保守一式	27	1	100

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	スタートコム(株)	システム運用保守支援業務一式	29	1	100